

## 埼玉県機械工学系奨学生レポート 平成 25 年度 9 月 課外活動とインターンシップ

フィンドレーに来て、2ヶ月が過ぎようとしています。フィンドレーの平均気温はここ数週間でものすごい勢いで低下しました。早朝や夜には 10 度を下回っていることもあります。10 月には雪が降る年もあるそうなので、体調を崩さないよう気をつけていきたいと思います。

今月はインターナショナルディスカッションや日系企業のピクニック(皆川君のレポートにて紹介)等、さまざまな課外活動に参加しましたのでご報告します。またインターンシップでの業務内容についても簡単に紹介したいと思います。

### International discussion

昨年度から留学生によって行われているインターナショナルディスカッションに参加し始めました。これは、フィンドレー大学にいるさまざまな国籍の学生が集まり、ディスカッションを行うもので、毎週水曜日の夜に開催されております。社会問題に関するテーマが毎回 1 つ決められており、そのテーマについて 4、5 人のグループに分かれてディスカッションします。このディスカッションに参加すると、大学のクラスメート以外の留学生とも交流できるため、予想以上に面白く、また大変勉強になっています。日本の大学でも、社会問題についてディスカッションする機会は多々ありました。しかし、日本の大学では、途中で話合いがいきづまり、途中でディスカッションが止まるのが時々ありました。しかし、このインターナショナルディスカッションは参加者全員がとても積極的なため、非常に盛り上がります。それでも、各々お互いの参加者を尊重しているため、私が話しているときに英語が出てこなくて一瞬止まってしまった時でも、話を終わらせないで待ち続けてくれます。またディスカッションの中で出てくる意見には日本人同士のディスカッションでは聞くことができないようなことを聞くこともあるので非常に勉強になります。



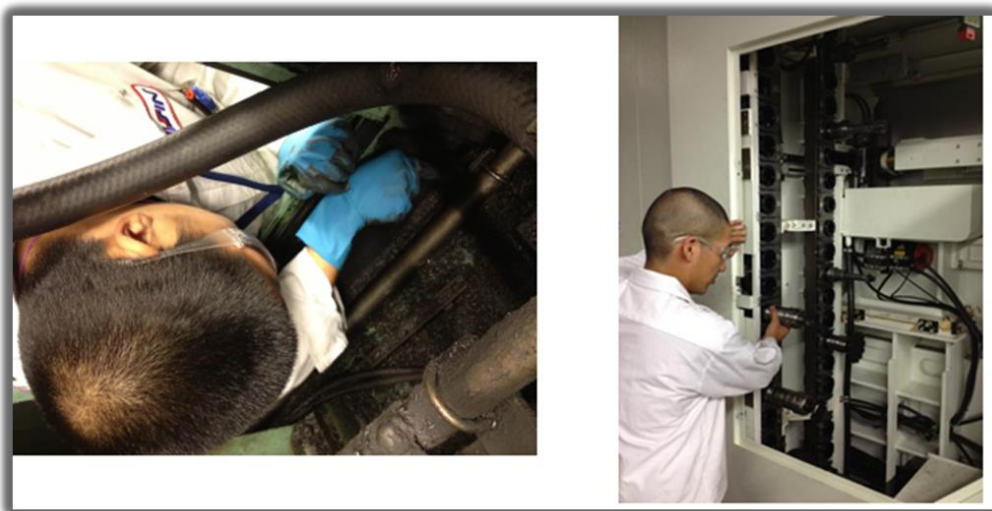
ディスカッション終了後の集合写真

## インターンシップ(Nissin Brake Ohio)

今月のインターンシップでは、第二工場の新しいNCフライス機器のセットアップ、並びに既存の機器のメンテナンスを行っています。新しいNCフライス機器のセットアップでは、上司の Jeff さんともに、図面を見ながら新しい刃物のセットアップ、そしてチャック(製品を加工する際の固定する台)の調整を行ないました。この作業をしているときに必要部品が足りなかったり、加工が必要であったりとさまざまな問題に直面しますが Jeff さんの手厚い指導もあり順調に進んでいます。

また既存の機器のメンテナンス作業を行いました。これは、劣化したマシンの小窓を取り換えるもので、プラスチックガラスを電動ノコギリで小窓の寸法に切り、ねじ穴をあけ、マシンにねじで固定します。小窓の交換作業は小さいことに思われがちですが、マシンの動作中は、エンジニアはこの小窓を覗いて機器の動きを確認するので重要です。

また、機械を冷やすためのクーラントが正常に動かなくなったマシンがありましたので、クーラントホースをマシンからすべて取り外し、ホースの中を覗くと、加工中に出る細かな金属片が大量につまっております。これが不動の原因でした。そこで取り外したホースから金属片をすべて取り除き、再び組み立てることで稼働させることが出来ました。我々の上司である Jeff さんは、メンテナンスの時に原因を直接我々に教えることはしません。このクーラントの異常のときも「クーラントのホースとか気にならないか？」とだけ言ってきます。彼は常に私達に問題解決の際の考える場を与えてくれます。これは私たちが考えながら仕事をしていく力を身につけるために非常に重要なことであり、またインターンシップに来なければ学べないことだと思っております。この恵まれた環境に感謝しながら、インターンシップでは心身ともに大きく成長させていきたいと思えます。



クーラントメンテナンス作業(写真左)と刃物のセットアップ作業(写真右)